

記入年月日
平成 29 年 4 月 3 日

事務事業名		農業用プラスチック適正処理推進協議会支援事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	050103000832
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	050101
政策体系	総合計画の施策名	0501	農業の振興		主要事業				農林課
	政策名	05	魅力と活力のある産業社会づくり		市長マニフェスト				
	施策名	01	農業の振興		未来PJ事業		グループ	農政G	
	基本事業名	03	農業の効率化推進		合併建設計画事業				
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業細	一般会計		（年度～）	
	01	06	01	03	03 00	特産物振興事業		↳ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入	
法令根拠		桜川市補助金等交付規則							

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

手段	(1) 事務事業の概要	
	①事務事業の概要（事務事業の全体像） 園芸農業の振興及び使用済み農業用プラスチックの適正処理に関する事業を行い、安全で安心な園芸作業と環境の保全に寄与することである。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・桜川市農業用プラスチック適正処理推進協議会 1. 農業用廃プラスチック収集処理対策について検討し、農村環境の保全と園芸農家の健全な発展に資する。 2. 農業用廃プラスチックの収集事業を主体運営し、県・市・農家及び農業団体等がそれぞれ1/3ずつ負担して運営する。 3. 県・市・農協が主体運営し、農業用廃プラスチックの適正処理事業に関わる啓発・指導を行う。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
農業用廃プラスチック収集処理対策について検討し、農業用廃プラスチックの収集事業を主体運営し、農業用廃プラスチックの適正処理事業に関わる啓発・指導を行う。	収集処理回数	回	4.00	4.00	4.00	4.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
農業用プラスチックを排出する農家	登録農家数	戸	176.00	161.00	150.00	150.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
廃プラスチック収集による農村環境の保全	農ビ回収実績	t	54.00	45.13	50.00	50.00	0.00
	農ポリ回収実績	t	40.00	42.17	40.00	40.00	0.00
	リサイクル不能分	m3	5.50	3.00	5.00	5.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移				27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	170	170	170	170	0
			一般財源	千円	950	950	950	950	0
	事業費計(A)		千円	1,120	1,120	1,120	1,120	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	0.00人	
		述べ業務時間	時間	592.00	433.00	400.00	400.00	0.00	
		人件費計(B)	千円	1,717	1,256	1,160	1,160	0	
トータルコスト(A)+(B)			千円	2,837	2,376	2,280	2,280	0	

事業費の内訳	28年度事業費 実績 (千円)			29年度事業費 予算 (千円)		
	19 負担金補助及び交付金	1,120				
			合 計	1,120		合 計

(4) 当該年度の実施内容

29年度の事業内容

30年度の事業内容

31年度の事業内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する

- ・主要事業
- ・市長マニフェスト
- ・未来PJ事業
- ・合併建設計画事業



事務事業名	農業用プラスチック適正処理推進協議会支援事業	事務事業No.	50103000832	所属課	農林課
-------	------------------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 農業用廃プラスチックの収集処理対策について検討し、農村環境の保全と園芸農家等の健全な発展を目的に始まった。【平成18年に桜川市農業用プラスチック適正処理推進協議会設立】	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 農業用プラスチックを個人で排出する場合、一般廃棄物処理となり処分費用が何倍にもなるため、本事業を継続してほしい。また、リサイクル不能なものの処分に苦慮しており、市で対応してほしいとの要望がある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
現状維持	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） 結びついている ・農業用プラスチック収集は、市の目的とする農村環境の保全と園芸農家等の健全な発展に寄与し、不法投棄や野焼き等の軽減効果につながる。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） 妥当である ・農村環境の保全という観点から、廃プラスチックの収集処理は市が中心になって行うべきものである。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） 向上余地がない ・その年によって回収量にばらつきがあるため、リサイクルの啓発を継続し排出量を安定させる。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） 影響有 ・処理費用により農家負担が増え、廃プラスチックの収集率が悪くなり、環境が悪化する。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 余地がない ・類似事業がないため。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） 削減余地がない ・最低限の人件費である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） 公正・公平である ・農業用プラスチックを排出する全農家を対象としているため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	⇒	・長期にわたり実施しているため、回収の認知度は向上している。 ・回収時の廃プラスチックの状態が良くないものが多い。保管方法、排出の際の注意事項など啓発を継続する。 ・リサイクル不能の回収の要望もあった。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う → ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 現状維持 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果	⑨																					
		コスト削減優先度評価結果	⑥																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 ☐ A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 ☐ B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 ☐ 確認